

就職活動のための準備

高校卒業後は進学を希望している人も、その先には「就職」があります。これからいろいろな企業や仕事を探す時に、「自分の知っていること」だけで判断するのはもったいない。興味のある仕事、名前を聞いたことがある会社以外にも、自分の能力を生かせる会社がたくさんあるはず。今月の18日からは、専門系学科でキャリア教育の時間も予定されています。これからたくさんの方の話の話を聞いたり、企業について調べたりすることが増えるでしょう。特にインターネット等で、誰が発信したかわからないような情報は鵜呑みにせず、「必要なもの」「正しい情報」を選択できるように心がけてください。

👉 まずは、基本の言葉を知ろう！

★業種 = 事業の種類

会社や個人の営む事業の種類のこと。高卒の求人票を管理するハローワークでは20の大分類にわかれています。例えば、右のように、スマホひとつでも関連する業種がたくさんあるのがわかります。



つくる会社 = 製造業
工場から店舗へ運ぶ会社 = 運輸業
販売するお店 = 小売業
回線を管理する会社 = 情報通信業
基地局を設置する会社 = 建設業

★職種 = 仕事の種類

業務内容(仕事の内容)によって分けた仕事の種類のこと。例えば「パソコンに関する仕事がしたい」と言ってくる生徒がいますが、関連する仕事(職種)はこのようにたくさんあるのですよ。



デザインする仕事 = デザイナー職
パソコンを作る仕事 = 製造職
プログラムを作る仕事 = PG・SE職
店頭で売る仕事 = 販売職
保守点検をする仕事 = 技術職

👉 仕事に必要な資格や能力ってなんだ？

< 求人票で確認する >

やりたい仕事が決まれば、その職種で募集をしている会社の求人票を見て、必要な資格を確認することができます。(複数の企業で確認するとよい)

< 先生に相談する >

「こんな仕事に就きたい場合は何が必要になりますか」と相談してください。内定を勝ち取った先輩方がどんな資格を持っていたのか、就職相談室で確認できます。また、企業がどんな生徒を採用したいと考えているのか、企業担当者と話をしているのでそれを伝えることもできます。

資格以外に、協調性や社会人としてのマナーも身につけよう

👉 情報はどうやって集める？

1. 就職相談室

就職活動に必要な資料(求人票や会社パンフレット等)の他に会社に関係する本や様々なデータを見ることができます。また、これから出てくるいろいろな疑問や悩み、就職に関する様々な問題についてもマンツーマンでアドバイスします。

2. 新聞

世の中の動きを把握し、教養を高めるために、一日10分でも目を通すことをお勧めします。企業の広告から将来の仕事のヒントを得られる場合もありますよ。特に進学希望者は、新聞を読む習慣を身につけておくと、進学後の就活でも役立ちます。



3. インターネット

会社のホームページがある場合は、必ず閲覧すべきです。そこに記載されている仕事の内容や代表者の言葉などから、どんな企業かを読み取ることができます。また、就職情報会社のサイトも参考になります。(ただし大学生用に作られているのがほとんどです)就職相談室にも4台のパソコンがあるので利用してください。